

令和1年6月 診療予定表

(午前:9:00~12:00 午後:3:00~6:00) ※予告無く変更となる場合があります。

| 日 | 曜日 | 午前診 | | | | 午後診 | | | 糖尿病 | 当直 |
|----|----|-----------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-----|
| | | 内科・一診 | 内科・二診 | 内科・三診 | 小児科 | 内科・一診 | 内科・二診 | 内科・三診 | | |
| 1 | 土 | 前田隆 | 鈴木康 | | 濱田 | 前田隆 | | | | 高橋 |
| 2 | 日 | 休診(日直 高橋) | | | | | | | | 永島 |
| 3 | 月 | 前田純 | 前田隆 | 吉田 | 濱田 | 前田純 | 多田羅 | | | 竹崎 |
| 4 | 火 | 前田純 | 河野 | 佐尾山 | 辻 | 佐尾山 | 河野 | | | 河野 |
| 5 | 水 | 岸 | 多田羅 | 佐尾山 | 濱田 | 岸 | | | | 多田羅 |
| 6 | 木 | 佐尾山 | 多田羅 | | 辻 | 佐尾山 | 隈元 | | | 山田 |
| 7 | 金 | 前田隆 | 多田羅 | 佐尾山 | 濱田 | 佐尾山 | | | | 福家 |
| 8 | 土 | 前田純 | 鈴木康 | | 濱田 | 前田純 | | | | 桑原 |
| 9 | 日 | 休診(日直 桑原) | | | | | | | | 永島 |
| 10 | 月 | 前田純 | | 吉田 | 濱田 | 前田純 | 多田羅 | | | 竹崎 |
| 11 | 火 | 前田純 | 河野 | 佐尾山 | 辻 | 佐尾山 | 河野 | | | 河野 |
| 12 | 水 | | 多田羅 | 佐尾山 | 辻 | 佐尾山 | | | | 多田羅 |
| 13 | 木 | 佐尾山 | 多田羅 | | 辻 | 佐尾山 | | | | 山田 |
| 14 | 金 | | 多田羅 | | 辻 | 佐尾山 | | 鈴木- | | 小山 |
| 15 | 土 | 前田純 | | | 濱田 | 前田純 | | 谷口 | | 桑原 |
| 16 | 日 | 休診(日直 桑原) | | | | | | | | 永島 |
| 17 | 月 | 前田純 | 前田隆 | 吉田 | 濱田 | 前田純 | 多田羅 | | | 竹崎 |
| 18 | 火 | 前田純 | 河野 | 佐尾山 | 辻 | 佐尾山 | 河野 | | | 河野 |
| 19 | 水 | 岸 | 多田羅 | 佐尾山 | 濱田 | 岸 | | | | 多田羅 |
| 20 | 木 | 佐尾山 | 多田羅 | | 辻 | 佐尾山 | | | | 山田 |
| 21 | 金 | 前田隆 | 多田羅 | | 辻 | 佐尾山 | | 鈴木- | | 福家 |
| 22 | 土 | 前田純 | 鈴木康 | | 濱田 | 前田純 | | | | 穴田 |
| 23 | 日 | 休診(日直 穴田) | | | | | | | | 呉 |
| 24 | 月 | 前田純 | 前田隆 | 吉田 | 濱田 | 前田純 | 多田羅 | | | 竹崎 |
| 25 | 火 | 前田純 | 河野 | | 辻 | | 河野 | | | 河野 |
| 26 | 水 | 岸 | 多田羅 | 佐尾山 | 濱田 | 岸 | | | | 多田羅 |
| 27 | 木 | 佐尾山 | 多田羅 | | 辻 | 佐尾山 | 隈元 | | | 山田 |
| 28 | 金 | 前田隆 | 多田羅 | | 辻 | 佐尾山 | | 鈴木- | | 福家 |
| 29 | 土 | 前田隆 | 鈴木康 | | 濱田 | 前田隆 | | 谷口 | | 朝雲 |
| 30 | 日 | 休診(日直 朝雲) | | | | | | | | 朝雲 |

| 専門外来 | 担当 | 担当 | 担当 |
|-------|-----------|-------|----------|
| 消化器内科 | 前田純 河野寿明 | 糖尿病外来 | 鈴木一永 谷口洋 |
| 消化器外科 | 鈴木康之 隈元謙介 | 泌尿器科 | 多田羅潔 |
| 呼吸器外科 | 吉田千尋 | 小児科 | 濱田嘉徳 辻正子 |

「ふれあいの箱」
皆様のご意見、ご要望等
ございましたらお聞かせ
下さい
VOICE BOX

当院では、正面玄関や病棟に「ふれあいの箱」というご意見箱を設置しておりますので、当院に対するご意見・ご要望等ございましたらご遠慮なくお聞かせください。

普通寺 前田病院

広報 純心便り

2019年
6月
第136号

トピックス

- 今月の一言.....理事長
- 誠心こども園慰問.....きらめき郡家
- 胸水について
- 旬の素材で簡単料理.....給食

「純心会理念」
信頼される医療
想いと優しさの伝わるケア
私たちはそれを目指します



理事長 前田隆史

令和に入り、はや一ヶ月が過ぎました。その間に、川崎市では学童に対して無差別の犯行がありました。又、父親が息子を殺すという悲惨な出来事などが起こり、世の中の殺伐とした光景が報道されており、

川崎の事件は、引きこもりの人が、自分の疎外感にたまたま起こしたようです。後の事件は、父親が引きこもりの息子が他人に危害を及ぼしたりするの心配のあまりのことのようです。両方とも引きこもりの状態(病態)が原因のようです。これらはやはり幼小時からの教育の環境の影響でしょうか。日本の教育体制(理念)がしっ

かりとしていないためではないでしょうか。今までもゆとり教育とか又、働き方改革とか、ウケをねらった政策ばかりで人気取りをしていたようにみえます。ゆとり教育が失敗であれば、その総括もされずに誰の責任なのかも分からずに平気で過ごしてきた責任は大きいのではないのでしょうか。

戦後から昭和の時代は国民全員が国を思い、お互いの幸せを求めて努力してきたと思います。それを借金ばかりして、国民の機嫌を取っている政策を打ち出すばかりで、国民自身の体力(や精神力)を弱めているのではないのでしょうか。教育とは知識ばかりを教えるだけのものでなく、一人ひとりの生き方を植え付けるものでなければならぬと思います。皆様、今の世の中の在り方をいかにお考えでしょうか。

朝晩は肌寒く日中は25度以上の夏日が続く、1日の温度差が大きいため寒暖差アレルギーを発症している方も多いため、鼻水や咳などの症状が続く場合は要注意です。

5月8日、きらめき郡家にかわいい園児が遊びに来てくれました。歌にダンス、肩たたきで利用者様にステキな笑顔が見られました。



誠心こども園慰問

園児一人ひとりから入所者様へ手造りのメッセージをプレゼントしてもらい園児と楽しい時間を過ごせました。

New Face

つむら そのえ
津村 園枝 (介護)



今年の3月より病棟で勤務させて頂いております津村園枝と申します。
常に学ぶ心を忘れず、向上心を持ち、より良い介護提供ができたかと考えています。
また、患者様の目線に合わせ話を聞き、患者様だけでなくご家族の声にも耳を傾けて話を聞くことを大切に1人1人寄り添った介護ができたかと思っています。
初心を忘れず、より良い介護ができるよう、日々学んでいきたいと思っております。
今後ともどうぞよろしくお願い致します。

にしおか たかみ
西岡 孝美 (看護師)



今年の4月から病棟で勤務させて頂いております西岡孝美です。
看護の経験は浅くわからない点多々出てくると思いますが、わからない不安なまま患者様に接するのではなく、先輩に相談し、安全・安心な看護を行っていきたく思います。また、笑顔忘れず接したいと思っております。
今後ともどうぞよろしくお願い致します。



ネバネバ効果で快便効果UP! 大腸がん予防に『オクラ』



【作り方】

- 1.長ネギは小口切りにし、流水でもんでさらす
- 2.オクラを1cmくらいの厚さに切り、沸騰したお湯で2分弱茹でる茹であがったら、ザルにあげ水にさっと通す
- 3.ポウルに水にさらした長ネギ、茹でたオクラ、絹豆腐、かつお節、めんつゆを入れ、ざっくりと味が馴染むように混ぜたら完成です♪

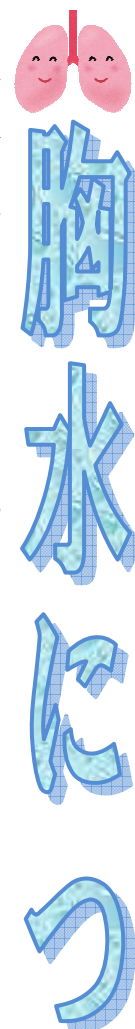
【美味しいオクラの選び方】

全体がうぶ毛に覆われていて、7~8cmのサイズのものを選びましょう。育ちすぎると種が詰まって食感が固くなります。ヘタの切り口が変色しているものは鮮度が落ちているので避けましょう。

【材料】(2人分)

オクラ...5本、絹豆腐...半丁、長ネギ...1/4本、かつお節...小パック1袋、めんつゆ...小さじ2

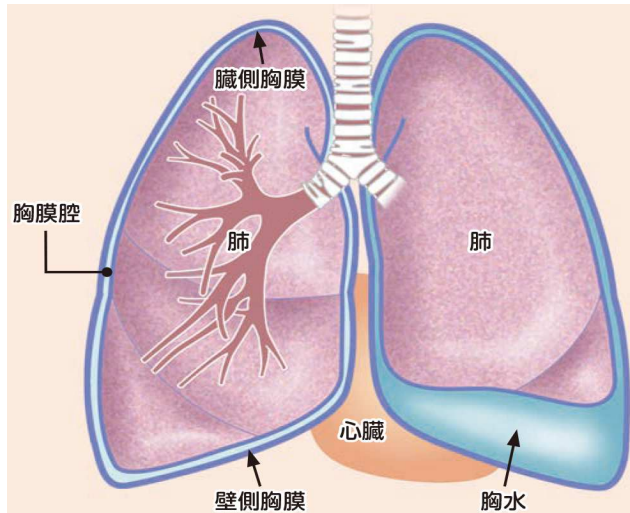
胸水とは



肺は、胸壁に囲まれた胸腔内に存在し、肺の外側は胸膜という薄い膜で覆われています。

胸膜は胸壁側(壁側胸膜)と肺を覆っている胸膜(臓側胸膜)の2枚から成り、この間にたまった液体が「胸水」です。正常でも少量程存在し、胸膜がこすれない様に潤滑液としての役割を果たしています。

胸水は、壁側胸膜から産生され、臓側胸膜から吸収されることにより、一定の量を保っていますが、何らかの原因でこのバランスが崩れると胸水が貯まってきます。



原因

胸水には、主に胸膜の炎症や癌などによる滲出性(むんしゅつせい)胸水と非炎症性の漏出性(ろうしゅつせい)胸水の2種類あります。

滲出性胸水

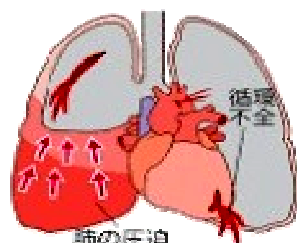
滲出性胸水の原因としては、感染(細菌、結核など)、肺がんや胸膜に発生する悪性上皮腫といった腫瘍、関節リウマチなどの膠原病などによる胸膜炎があります。通常は片側性で、悪性の場合には血性になることが多いです。

漏出性胸水

漏出性胸水は、心不全、肝硬変、ネフローゼ症候群、腎不全などでみられ、肺の病気が原因のことが多く、通常は両側に見られ淡黄色透明です。

○胸腔内に血液がたまる状態

胸腔内に血液がたまる状態(血胸)は、一般に胸部外傷の結果として生じます。まれに、外傷がなくても、血管が破裂して胸腔内へ出血したり、大動脈の一部が膨らんだ部分(大動脈瘤)から漏れ出した血液が胸腔内に入ったりすることがあります。



症状と診断

【症状】

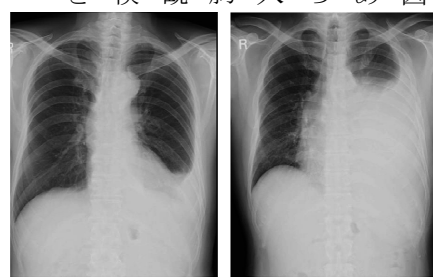
胸の違和感や咳、そして、胸水の量が増えること息苦しさを感ずるようになります。

壁側胸膜には知覚神経が存在するため、痛みを感じる事があります。少量の場合や貯留速度が遅い場合は、無症状のこともあります。心不全などでは、足のむくみが見られることがあります。

【診断】

胸部CT検査及び血液検査を行ない、胸水が貯まっている部位を超音波で確認して、その部分に注射針を刺して胸水を採取します。

細菌検査や悪性細胞の検査(細胞診)をすることで原因がわかることがあります。が、わからない場合には、入院して胸腔鏡で胸膜の表面を直接観察し、病変の生検で診断がつくこともあります。



治療

胸水貯留の原因が肺以外の場合には、原因となる病気の治療を行ないます。

肺がんや胸膜上皮腫の場合には、抗がん剤による治療を行ないますが、貯まった胸水が大量である場合は、ドレーンという管を胸壁から挿入して、胸水を持続的に抜きます。

また、難治性で繰り返し胸水がたまる場合、ドレーンから2枚の胸膜を癒着させる薬剤を注入する胸膜癒着術を行うこともあります。

【肺炎による胸水】

肺炎によって胸水がたまっている場合、抗菌薬の静脈内投与が必要です。医師は通常、胸水のサンプルを採取して、検査に送ります。膿がたまっていたり、胸水にある種の特徴がみられる場合は、一般に胸腔ドレーンにより胸水を抜き取る必要があります。

【がんによる胸水】

胸膜のがんによって胸水がたまっている場合は、胸水を抜き取ってもまたすぐにたまってしまふことが多いため、治療が困難なことがあります。胸水を抜き取って抗腫瘍薬を投与することで、液体が再びたまらないようになることもあります。